

「Harrison's Principles of Internal Medicine, 11th Edition」

Edited by Eugene Braunwald, et al

東京都済生会中央病院内科

北 原 光 夫

ハリソン内科書の改訂 11 版が発売された。誰でも一度は手にするべき内科書であり、セシル内科書と同様に内科書の prototype として、高い評価を得てきている。最近、スタインやハーストを editorial chief にした内科教科書も発売されているが、やはりハリソンとセシルが最も信頼を得ているようである。米国では医学生の頃より使用し始め、一人前の医師となった時点でもレファレンス・ブックとして使用している。ハリソン、セシルを代表とする教科書を自国語ですらすら読んで自分のものにしてゆくことが可能である米国の医学生はうらやましいと、厚い米国の医学書を手にするたびに思う。事実、ボストンで一緒に働いた米国人の内科レジデントはハリソンを学生時代に読破したと聞き、彼らの勉強ぶりと語学力の差を痛切に感じた。

11 版のハリソンの編集はやはりハーバード大学系統の人々の手によってなされており、10 版と変わりのない編者である。ページ数は今回は 2,248 ページ(本文 2,118 ページ)に抑えられており、前版より 8 ページ増加しているだけである。

ハリソン内科書の特徴として、以前からの伝統を崩さず、まず疾患の主症候を病態生理から解説しており、内科全体を把握しやすくしている。この部は特に医学生にとって内科を学ぶのに入りやすくしており、このようなセクションをもたないセシルとの顕著な相違となっている。この点を考えてみると、ハリソン内科書は医学生や卒業後、間もない若

い医師にとって、よくオーガナイズされている。

第 2 部は生物学的な面を異なった観点から眺め、臨床医学への入門となっている。旧版に比べ、編成がかなり異なっている。この中に臨床薬理学も含まれている。

第 3 部は感染症を扱ったセクションになっているが、実に 544 ページにわたっている。これはハリソン内科書の 25.7% を占めており、セシル内科書の 15.8% を越えているが、いずれにせよ、感染症にこれだけのページ数を費していない日本の内科の教科書とは大きな違いとなっている。抗生物質の章は新しい抗生物質・化学療法剤の出現のためにかなり大幅に書き変えられている。更に免疫不全にみられる感染、院内感染なども書き変えられている。

免疫システムと結合組織、関節疾患が第 8 部にまとめられている。この全面的な書き変え、再編成は今回から NIH より編者の 1 人に加わった、Dr. Fauci による考えであると思われる。ここでは欠損疾患から始まって、AIDS、プラズマ細胞疾患、アミロイドーシスから、いわゆる膠原病、関節疾患を含んでいる。AIDS に関しては全世界が注目している問題であって、AIDS を 1 つの章にまとめたのは当を得ていると言えよう。

血液学と腫瘍学が 1 つの部にまとめられたのも、この新しい版の特徴であると言えよう。米国では大部分の医学部、大病院では血液学と腫瘍学が 1 つの部門に統合されており、この新しい傾向を踏まえての章

である。まず最初に臨床的に重要な問題となりうる出血に関するセクションから始まっているのは興味がある。造器組織異常のセクションでは骨髓移植の章と骨髓不全による貧血の章が新たに加えられている。腫瘍疾患に入ると、Dr. Gallo による HTLV の章がある。この章はしかし、ウイルスのセクションに入れたほうがすっきりしたかと思う。その後、続く悪性腫瘍は分類・病期・治療が確立されたリンパ腫、乳癌、卵巣癌、睾丸腫瘍等が載っているが、その反面、治療面で確立された治療方法がない肺癌(非小細胞癌)、消化器系の癌が除かれているのは内科教科書としては適切である。

内分泌・代謝は旧版に比較して悪性腫瘍を除いての再編成は非常に読みやすくなっている。

11 版では更にカラー・アトラスのコレクションが増加しており、文章から得るだけでなく、目からも学ぶことができ非常に有用である。文献も最近の新しい重要なものが挙げてあり、1985 年まで入っているのは心強い。もう 1 つ、円高で旧版に比べて本の値段が安くなったのもうれしい。

前に述べたようにセシル内科書は基本がしっかり身についた医師にとって含蓄のある本である一方、このハリソンの内科書は内科を学び始めた医師にとって、症例をみつつ、この本を参考にして身につけてゆくには最適である。更に、基本のある医師にももちろん有用である。

今回の版は長年編者をつとめてきた Dr. Thorn に捧げられているが、昨年 12 月に急逝された私の血液学の恩師である Dr. Wintrobe も長年編者をつとめており、彼にも捧げたい新しいハリソン内科書である。2,248 pp 525 figs 11th ed 1987 A4 変型

¥20,400(1 vol ed)

¥22,800(2 vol ed)

McGraw-Hill Book Company,
New York

日本総代理店 医学書院洋書部